

事業名：延長保育事業

保育課 保育係

政策	03 安心を感じる保健・医療・福祉の充実								
施策	03 子育て環境の充実								
基本事業	02 未就学期児童への支援								
開始年度	平成 7年度	終了年度	—	実施計画 事業認定	対象	会計区分	一般会計	補助金	事業補助

事務事業の目的と成果

対象（誰、何に対して事業を行うのか）

延長保育を必要とする児童

手段（事務事業の内容、やり方）

延長保育（午後6時15分～7時15分）利用者は、申込書により利用する日の前日までに園に申請する。利用料は日額400円（月7日以上の利用は月額2,500円）。

【補助金の根拠】「江別市延長保育実施要綱」、「江別市保育対策等促進事業等補助要綱」

意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）

延長保育を必要とする児童を保育することにより子育てと仕事の両立を支援する。

指標・事業費の推移

区分		単位	23年度実績	24年度実績	25年度実績	26年度当初
対象指標 1	延長保育申請登録者数	人	600	634	634	600
対象指標 2						
活動指標 1	民間保育園に対する補助金額	千円	45,790	45,739	45,723	51,118
活動指標 2	公立保育園の事業費	千円	9,144	6,331	4,327	6,144
成果指標 1	延長保育延べ利用者数	人	15,889	16,423	19,441	16,000
成果指標 2						
事業費 (A)		千円	54,934	52,070	50,050	57,262
正職員人件費 (B)		千円	45,748	40,080	39,065	39,120
総事業費 (A + B)		千円	100,682	92,150	89,115	96,382

	事業内容（主なもの）	費用内訳（主なもの）
25年度	延長保育（午後6時15分～7時15分）	報酬 2,376千円、賃金 1,662千円、需用費 289千円、負担金・補助及び交付金 45,723千円

事業を取り巻く環境変化	
事業開始背景	
事業を取り巻く環境変化	
保護者の就労形態の多様化に対応した子育て支援をするため、通常の開所時間（7:15～18:15）を超えて保育が必要であることから19:15までの延長保育事業を開始した。延長保育ニーズが高いことから平成15年度より認可保育園全園で実施している。	

平成25年度の実績による担当課の評価（平成26年度7月時点）	
(1) 税金を使って達成する目的（対象と意図）ですか？市の役割や守備範囲にあった目的ですか？	
妥当である 妥当性が低い	理由 根拠 非正規職員としての雇用が中心ながらも女性の就労は増加しており、就労形態も多様化されている現状において、ワーク・ライフ・バランスの推進に繋がり、子どもの健全なる育成が図られることなど、公立保育園が実施している事業を民間保育園にも拡大し、官民のサービスの格差解消を図るもので、一部次世代育成支援交付金を受けて実施しており妥当である。
(2) 上位の基本事業への貢献度は大きいですか？	
貢献度大きい 貢献度ふつう 貢献度小さい 基礎的事務事業	理由 根拠 就労形態の多様化に伴う、保育ニーズに応えるもので、子育て環境の充実はもとより、ワーク・ライフ・バランスの推進にも繋がり、貢献度は大きい。
(3) 計画どおりに成果は上がっていますか？計画どおりに成果がでている理由、でていない理由は何ですか？	
上がっている どちらかといえば上がっている 上がらない	理由 根拠 平成25年度は年間延べ利用者が増加しており、19千人以上がサービスを利用していることから、延長保育により安心して仕事に取り組めるなど、多様化する保育ニーズある程度応えることができることから成果が上がっている。
(4) 成果が向上する余地（可能性）がありますか？その理由は何ですか？	
成果向上余地 大 成果向上余地 中 成果向上余地 小・なし	理由 根拠 延長保育時間の見直し等により成果向上の可能性のあるものの、保育体制の整備やコスト増加に繋がり現状では難しい。
(5) 現状の成果を落とさずにコスト（予算+所要時間）を削減する方法はありますか？	
ある なし	理由 根拠 所要経費削減に向け保育体制等十分配慮しており、保育対策等促進事業費補助金を受けて実施するものでコスト削減の余地はない。